

山名	燧ヶ岳 (尾瀬) 2,356m 至仏山 2,228m	山行名	例会山行
ルート	長蔵小屋⇒沼尻平⇒柴安嶺山頂⇒見晴新道⇒弥四郎小屋		
山行日	2018年 8月 3日,4日2	天候	二日間 快晴
参加者	リーダー： 若林 サブリーダー 和田 (男性) 西川 平尾 若林 3名 (女性) 和田 上田 大林 伊藤(多) 4名		

<b>ルート概略図</b> 	コースタイム 長蔵小屋から鳩待峠の工程表			
	地名	時：分	地名	時：分
長蔵小屋	発 5：00	弥四郎小屋	発 5：00	
8/3		8/4		
浅湖湿原	着 5：20	山の鼻	7：30	
	発 :			
柴安嶺	着 10：18	至仏山	11：30	
	発 :			
見晴新道	着 :	鳩待峠	着 15：25	
	発 :0			
弥四郎小屋	着 13：50			

『夏が来れば思い出す はらかな尾瀬 遠い空』この曲に誘われ尾瀬の山(燧ヶ岳 至仏山)計画 台風一過? 快晴に恵まれて松井山手8/2(木)4:30スタート 15:20大清水に到着マイカーを駐車場に置き初日の宿泊地(長蔵小屋)へ向かう。長蔵小屋には 17:45 到着明日からの本番に備えて体調考慮して早めの睡眠。8/3(金) 長蔵小屋を快晴の中 5:00 出発 長英新道を歩き燧ヶ岳(2,356m)に向かう。眼下に尾瀬沼や遠くに男体山も展望見晴新道經由にて8時間50分程掛けて二日目の宿泊地である弥四郎小屋に到着 小屋の前が尾瀬ヶ原 正面には 明日登る雲海の中から顔を見せた至仏山(2,228m)を仰ぎ気持ちも高まる。8/4(土) 5時00分スタート 朝早く出発した事も幸いして尾瀬ヶ原を独占できる程人もおらずゆっくりと草花を見ながら散策も兼ねて山の鼻登山口に到着。山の鼻にはトレッキングの方々が多く見られた。11時30分頃至仏山(2,228m)登頂 下りは蛇紋岩で表面が光沢で非常に滑りやすく慎重に下山した事もあり約10時間30分掛けて参加者全員鳩待峠に15時25分到着 深夜の帰京は避けて4日の夜は片品温泉旅館に宿泊温泉旅館(子宝の湯 しおじり)のご厚意で大清水へも送迎して頂けて本当にありがたかった。旅館のご主人、ご長男と我が男性群3名は深夜1時20分迄懇親楽しい時間を過ごす事が出来た。ご主人の趣味は 溪谷釣り(イワナ釣り) 長男は溪谷釣りとハンター(鉄砲) 鹿の駆除資格を持っており駆除した鹿はご自分で持ち帰る事ができる決まりらしく保存をしてお客様に提供してられるとの事で次回来館時には 鹿肉 カモシカ肉をご馳走に成る約束をして翌日5日(日) 9時過ぎ旅館を出発 道の駅に立ち寄り地元の名産品に舌鼓買い物を済ませ露店でも地元産の野菜を調達 片品では有名な吹き割の滝を見学 この滝は山の上から落ちている滝では無くて河が割れており滝の景観を生み出している初めての滝に出会うことが出来た。来年出来れば今回お世話に成った片品旅館の子宝の湯 しおじり に宿泊して 鹿肉をご馳走に成り100名山で有る 武尊山、白根山登山に行ければ良いな 話題にしながら群馬県から車移動 4名のドライバーが都度交代しながら約11時間掛けて群馬県片品より松井山手に22時過ぎ到着 全員無事に帰路に着く事が出来た。天候に恵まれて燧ヶ岳と至仏山の両山を安全に登頂出来改めて参加メンバー各位の頑張りとお山登頂できた感動に感謝



8月3日 燧ヶ岳 山頂



8月4日 至仏山 山頂にて

3度目の尾瀬で、初めて尾瀬沼に足を踏み入れ念願の燧ヶ岳にも登頂できて満足しています。最初はかなり強行軍の日程でしたが、みなさんの意見を入れていただき宿を変更したり、日程を1日のばしたりとお世話をかけました。4日間とも好天に恵まれ、尾瀬沼～燧ヶ岳～尾瀬ヶ原～至仏山～鳩待峠という欲張りな尾瀬をめぐるフルコースをみんなで歩き通せたことは大変よかったと感謝しています。

燧ヶ岳からの360度の眺望は抜群、男体山、日光白根山、赤城山、平ヶ岳、越後三山などとりまく山々と眼下に尾瀬沼、尾瀬ヶ原、至仏山と、たっぷり楽しめました。弥四郎小屋で夕食後、木道に出て星空観察、何年ぶりでしょうか、あんなに多くの星を見たのは。北斗七星に天の川、(夏の大三角形などすっかり忘れていました)火星ももちろん見えました。朝は5時に早立ち、他に出かける宿泊者もなく、広々とした尾瀬ヶ原の霧のかかった白樺林と湿原の眺めを独占、翅を朝露に濡らし休んでいるトンボやレースのようなクモの巣に感心しながら、サワギキョウの花や午後にかけて咲かんとするヒツジグサやオゼコウホネの蕾、モウセンゴケをみんなで見てゆっくりと山の鼻へ、前方に至仏山、振り返って前日に登った燧ヶ岳をながめ、幸せな気分になることができました。あらためて尾瀬の素晴らしさにふれ、日本の自然保護運動の原点ともいわれ、かつて東京電力による尾瀬をダム底に沈める電源開発計画に反対して守られてきたこの尾瀬の自然を、子や孫の代までしっかり残していきたいと思いました。西川さんに車をお世話になって、大清水まで約600km、後部寝台で交代に休養しながらの山旅アプローチが実現しました。感謝、感謝です。CL若林さん、企画を立ててもらったSL和田さんはじめ、みなさんのおかげで印象に残る楽しい夏山登山ができました。ありがとうございました。



尾瀬沼から燧ヶ岳



燧ヶ岳(燧ヶ岳)から尾瀬沼



弥四郎小屋



早朝の尾瀬ヶ原 独り占め



振り返れば燧ヶ岳



逆さ燧ヶ岳



オゼコウホネ(蕾)



至仏山への登り



賑わう至仏山頂



高山蝶(クモマベニヒカゲ) ホソバヒナウスユキソウ



## 尾瀬の山旅

伊藤多恵子

これまで尾瀬には、一人で二度出かけたことがある。2008年7月にはニッコウキスゲを見るために（ついでに至仏山にも登って）、2009年6月には水芭蕉に会いに。ただ、その時、燧ヶ岳登山は山小屋のアドバイスで断念。残雪もあり、ぬかるみがヒドイということだった。という訳で、今回のプランの燧ヶ岳は大いに楽しみにしていた。また、長蔵小屋に泊まれることも。

山友会で、3コイチとか徘徊組などと（親しみを込めて？）呼ばれているトリオが参加しているのでにぎやかなことと言ったら…。営業トークの得意な方もいて、おかげで愉快的な山旅に。ちなみに私は二番目に寡黙なメンバーでした。

“半分、青い”でなく“全部、青い”空の下、360度の眺望の得られた燧ヶ岳、至仏山の登山も、もちろん最高だったけど、早朝の尾瀬ヶ原の木道歩きも素晴らしかった。遠くにたなびく朝もやの中に、白樺の木が幻想的に浮かんでいる。草の茎に止まってまだ目覚めていないトンボの羽根も、クモの巣も、朝露の水滴が細かなビーズのように縁どり、透明に輝いている。こういう光景を見ると、山に来た幸せをつくづくと感じる。

尾瀬を知り尽くしたSL和田さんとそれをサポートしてくれたCL若林さんのおかげでこんなに素敵な旅になりました。ただ感謝の一言です。

それにしても尾瀬までの道のりは遠かった。歌にある通り「はるかな尾瀬エ〜♪」でしたから、運転して下さったみなさん、本当にお疲れさまでした。

大林

尾瀬を企画してくださいました皆様ありがとうございました。

長い間行きたいと思っておりました山に行けその上天候に恵まれ、最高の登山でした。いろいろとお手数おかけいたしました。感謝感激の登山でした。ありがとう御座いました。

和田 千恵

今回の尾瀬の旅は、天候に恵まれ、これまでの尾瀬行の中で一番素晴らしい景色に会え、そして何よりうれしかったのは、思いもよらず燧ヶ岳と至仏山を私の中ではまさに踏破！したことでした。ゆっくり、ゆっくり焦らず同行のベテランの皆様方に支えられて歩くことができました。

一度の山行で二つの山に登るのは去年の夏山、瑞牆山・金峰山以来で、あの時もとでもあり得なかったことでしたが、二度とないと勝手に思っていた、一年経った今回、大丈夫と背中を押して頂いて登れたことは、少しだけ私にもできたと、至仏山から下山時は感激と足の痛みが交錯していました。

2日間とも、5時出発で約10時間歩き続け、ゴロゴロした石やぬかるみ、木の根っこなど、緊張しながらの行程でしたが、山頂の360度の眺望、尾瀬沼や尾瀬ヶ原の自然、雲がほとんどない青空の尾瀬はなかなか体験できるものではありません。夜空に透き通って見える星も、朝靄の神秘的な情景も、雨や霧のない稀有な尾瀬を満喫できました。

尾瀬は本当に素晴らしい！同行いただいた参加者の皆様に心から感謝です。

上田 秀子

素晴らしい天気にも恵まれて燧ヶ岳、至仏山に登って来ました。尾瀬の小屋では毎日お湯に浸かり汗を流し、夜には星空観察もでき、とても充実した山行でした。この次は秋の草紅葉を見に行きたいと思っています。